

関東CCC工業会・全国CCC工組

小集団活動発表を開催

9社が改善事例など紹介

関東コイルセンター工業会（会長＝藤澤鐵雄）



藤澤会長

と全国コイルセンター工業組合（理事長＝小河通治・小河商店社長）

は7日、東京都千代田区の星陵会館で小集団活動発表・交流会を開催し、176人が参加した。関東CCC工業会の8社と東海コイルセ

ンター工業会の1社が発表し、自社の小集団活動による改善事例などを紹介した。

開会に先立ち、藤澤会長は「厳しい状況を乗り越えるためには、社員の方の向上心と勇気が必要だ。きょうの発表・交流会は、

個々の会社のみならず、日本の鉄鋼業の発展につながることを信じているとあいさつした。

発表企業は奥澤産業（小山）葵商店、藤澤鋼板、西山鋼業、紅忠コイルセンター関東（群馬事業所）、五十鈴関東、東京スチールセ



小河理事長

ンター、藤田金屬。発表したテーマは、加工時の品質不適合の削減や、製品置き場の安全対策、スキッド材の解体時間短縮、安全対策など現場の活動から、BCP（事業継続計画）策定、業務効率化、ペーパーレス化、顧客満足度向上など部門を越えた取り組みまで多岐にわたった。

発表後に講評した小河理事長は、「非常にバラエティーに富んだ発表だった。皆さんには、この発表をどんどんア

ラッシュニアップし研さんを重ねてほしい。一つ一つの小さな積み重ねで、コイルセンターがプロフィットセンターになるような、努力を続けてほしい」と発表者をねぎらった。

発表会終了後は交流会が行われ、89人が参加。乾杯の発声と発表企業への奨励賞贈呈を、関東CCC工業会の藤澤会長が務めた。神吉伸幸監事（東京スチールセンター社長）の手締めで、盛況のうちに散会した。